

## 「自立・自尊」～夢の実現を信じて～

学校長 横山 豊



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、在校生の皆さんもご進級おめでとうございます。

2024年は元日から能登地震が発生し、2日には日航機と海保機の衝突事故が起こるなど、波乱の幕開けとなりました。世の中、何が起こるか本当にわかりません。しかし、昨年5月には新型コロナもインフルエンザと同じ第5類に分類され、海外旅行の制限もなくなり、コロナ禍以前のような日常生活が戻ってきました。この4月8日から始まる学校生活が、文化祭や球技大会などの学校行事を思い切り楽しめる喜びに満ちたものとなり、それが継続していくことを心から願っています。

さて、本校は昨年10月18日で創立120周年を迎えました。1903年の創設以来、本校の発展のエンジンとなってきたのは、「自立・自尊」という建学の精神です。「常に自分を大切にし、人としての自立を目指すこと」を意図しています。本校はこの「自立・自尊」の建学の精神のもと、「知・徳・体」のバランスの取れた教育を行い、学校目標として、これからの日本を支えていく「心豊かで、たくましく、自ら考え行動できる優れたリーダーの育成」を設定し、その達成を目指しています。

現代社会は、新型コロナのような新しいウイルスが流行し、ウクライナなどにおいて局地戦争が続き、世界的な気候変動も一層懸念されています。そして、景気も良いのか悪いのか今ひとつわからない混乱の時代だからこそ、常に溢れかえっている情報を精査し、真実を

見抜き、的確に対処する「自ら考え行動できる」人間となる必要があると考えます。

また、本校の教職員は、学園創設時の佐々木とよ先生の言葉にある「我ら真心もて教えの任に当らん」という教えを守り、「生徒に夢をあきらめさせない教育、生徒の指導に手間を惜しまない教育」を常に心がけています。

新入生の皆さん、そして在校生の皆さん。目指していくべきは、まずはそれぞれの夢の実現です。大きな夢を持ち、それに向かって努力を継続する。そうすれば、必ず皆さんの夢は叶います。これを言葉としたのが本校のスローガン「大志・継続・実現」であり、学校生活全般において、このスローガンを常に意識し、実践していったほしいと思います。

皆さんが令和の、そしてその先の日本を立派に支えていける、たくましい人間へと成長していくことを、心から期待しています。

最後に、佐藤一斎『言志四録』(※)より、有名な言葉を紹介しておきます。「一燈を掲げて暗夜を行く。闇夜を憂うことなかれ。ただ一燈を頼め」(暗い道をたった一つの提灯を頼りに、それを信じて歩めばよいのである)

自分の志と信念を大切に、ともに歩んでいきましょう。

※佐藤一斎(さとういつさい) [1772-1859]

幕末思想界の大御所であり、美濃国岩村藩出身の儒学者。『言志四録』は、西郷隆盛の愛読書であったことでも有名である。